

令和2年度第4回 旧国立駅舎運営連絡会議事録（要旨）

日 時：令和3年3月24日（水）19時00分～21時00分

場 所：国立市役所3階 第1・第2会議室

（事務局は国立市役所3階 第1会議室から参加、傍聴席は第1・第2会議室）

出席委員：磯部委員、磯前委員、落合委員、木村委員、佐藤委員、鈴木委員、中村委員、藤本委員、洪委員、宮崎委員

欠席委員：秋田委員、藤田委員

事務局：国立駅周辺整備課 関野課長、外立係長、菱沼主査、藤堂主任、後藤主任
旧国立駅舎まち案内所スタッフ 磯貝チーフ

記録（要旨）

1. 開会あいさつ

鈴木会長より開会の挨拶があった。

2. 前回の振り返り、会議の進め方について

- ・事務局より旧国立駅舎運営連絡会の前回の振り返りを報告した。
- ・事務局より本日の会議の進め方、次第の内容について説明した。
- ・三島委員に代わり着任した磯前委員の紹介をした。

3. 旧国立駅舎運営状況について

事務局より「資料1」および「旧国立駅舎利活用のトピックスと「1, 3, 10年度の姿（旧国立駅舎運営連絡会作成）」の紐づけシート」の通り 旧国立駅舎運営状況（2021/1/4～3/14）」について報告した。

（鈴木会長）積極的に様々な取り組みをされていること、コロナだからこそ屋外のスペースを有効活用できたことがわかった。イベントを開催されていて、旧国立駅舎が市民に様々な形で利用されていることが理解できた。

（鈴木会長）「旧国立駅舎利活用のトピックスと「1, 3, 10年後の姿（旧国立駅舎運営連絡会作成）」の紐づけシート」について補足しておく。

連絡会として1, 3, 10年後に旧国立駅舎やその周辺がこうなっていたら良いというビジョンとして作成したものである。現在の旧国立駅舎の運営をこのビジョンに照らしてみると、できている部分とそうでない部分を確認できると思う。ただ、必ずしもこのビジョン通りに進めなければいけないわけでもなく、途中でビジョンの内容を更新する必要も出てくるかもしれない。

これらのことを毎回の連絡会の度に忘れないようにするために事務局に報告を依頼したところである。

これらを踏まえて各委員、なにか意見等はあるか。

（各委員） 特になし

（鈴木会長） 次の議題に進むこととする。

事務局より旧国立駅舎 1 周年記念イベントの内容について「資料 2-1、2-2」の通り情報提供をした。

また、旧国立駅舎 1 周年記念イベントの一環として実施予定の旧国立駅舎東西広場（以下、東西広場）及び円形公園市民アンケートの説明を「資料 5」のとおり行った。

（鈴木会長）今説明いただいた「資料 5」の東西広場及び円形公園市民アンケートの説明は議題「5. 旧国立駅舎周辺の検討に向けて」にも関係してくるのでその際に質問等をいただけたらと思う。

4. イベント等の事前相談シート（課題の整理）

続いて事務局より「資料 3-1、3-2」のとおり説明した。

（鈴木会長）事務局としてはひとまずこの形で事前相談シートを運用したいということであった。なにか意見等はあるか。

（各委員） 特になし。

（鈴木会長）今後、変更できないということではないと思うので、とりあえずこの内容で運用してみて、都度振り返り検討していくということによいか。

（事務局） その通りである。

5. 旧国立駅舎周辺の検討に向けて

事務局より「資料 4」のとおり前回会議の振返り及び本日のグループワークの説明を行った。

（鈴木会長） 新たな情報としては東西広場・円形公園の整備スケジュールがでてきたということであった。

審査委員会の委員構成は専門分野が重複しないようにしたほうが議論の広がりが出て良いと思う。

（事務局） 委員構成はまだ案の段階なので、今のご意見も踏まえて今後検討していきたい。

（鈴木会長） 了解した。続いてグループワークに移りたいと思う。

（事務局） 現時点で各委員が東西広場・円形公園についてどのようなイメージを描いているかについて意見交換を行う。事前に各委員には東西広場・円形公園のイメージを事務局に送付いただいているので、その内容を会議開始直前に各委員にメールしたところである。これらを参考に 2 グループに分かれて意見交換し、最後にまとめを発表するような段取りである。

（鈴木会長） 3 段階に分かれていて、①東西広場について ②円形公園について ①②を踏まえて③旧国立駅舎の将来像の実現に向けて を議論する流れである。

ブレイクアウトセッション 1 回目（20～25 分）

グループ 1

（洪副会長） まずは東西広場について皆さんのご意見を発表していただきたい。

- (中村委員) 何もない空間がいい。林などあってもいいが設置されてしまうとその空間でなにもできなくなってしまうので、フレキシブルな空間が良いと思う。
一方で矛盾するようだが駅前に憩いの場がある方が良いと思うので物を置かずに憩いの場を実現できればいいと思っている。旧国立駅舎の広間が持っている「憩い」がそのまま外に広がっていくイメージである。
選定した写真は昭和 30 年頃の円形公園の様子でこのような空間が東西広場に展開されるといいと考えている。
- (宮崎委員) 何もない空間が良い。緑があってもいいかと考えたが、バリアフリーの観点などからできるだけ物が無いほうが良いと考えた。ただ、スペースは確保しつつも広場としてのシンボルになるものが必要と思い写真のような街灯があると温かみもでて良いと考えた。
また、座れる場所が欲しいのでおしゃれな防災ベンチなど広場の隅にあればいいと思う。
- (磯前委員) シンプルな空間が良いと思う。旧国立駅舎は待合いスペースになっていると何っている。そこから駅に向かって歩きやすく景観が良いといいと思う。
また、広場にベンチがあると休憩できる、憩いの場だというメッセージにもなるので良いと考えた。
- (洪副会長) 様々なワードが出てきているが、その中でも特に思い入れのある要素などはあるか。
- (中村委員) 西洋の広場をイメージしている。西洋の広場は何も物が無くても成立している。物を置くとしても可動式にしたほうが良い。
- (宮崎委員) 敷地がそこまで広くないので、西洋の開放的な広場のようにはいかないかもしれないが、それでも木があるとイベントなどができなくなってしまうそう。
- (磯前委員) 自然や緑を取り入れるにしてもそれがメインということではなく少し取り入れるイメージである。
- (中村委員) 動かせるベンチがあると憩いとイベントスペースの確保を両立できると思う。
- (洪副会長) 立川の子ども未来センターでは可動式のイスを 30 脚ほど設置した。盗難の懸念があったが、実際はなかった。開けた空間であることが抑止になっていると思う。
- (宮崎委員) 子ども未来センターのイスを実際に使ったことがあるが使いやすかった。
- (宮崎委員) 市民参加で東西広場・円形公園を管理できるといい。
- (磯前委員) 東西広場にロゴがあってもいい。
- (中村委員) 北口、駅のコンコース、南口東西広場を一体的に使えると良い。
- (洪副会長) 今は北口をイベントスペースとして使えるのか。
- (事務局) 北口は道路扱いなので、然るべき手続きを踏んで利用可能である。市が農業関連のイベントを主催したこともある。

グループ 2

- (鈴木会長) ご自身が書いたもののポイントをお話しいただきたい。
- (磯部委員) 私の視点から言うと「危機への備え」とか「安全安心」ということがある。東西広場、円形公園も含めて、せつかくならば、もうちょっと長期的なことを考えて、地下の利用も含めて考え、安心安全につながる、いざというときに人の

役に立つような施設も作ってほしい。というのは、旧駅舎も百年ぐらい前に作られて百年続いているわけで、この先の百年を考えると災害は必ず来る。そういったときに、人を集めれば集めるほど、学生など若い人たちが行き交う場所で時間帯によっては子どもたちが大変なことになる。そのようなことを踏まえて、安全安心につながる備えも持っていた方が、後世の人たちに「そんなことを考えて、こんなものを作っておいてくれた。」となるぐらいのことをやった方が、見かけだけではなく本質のところ、「さすが国立」と言われることをやってみたらいいと思う。当然お金はかかるが、そんなところまで目指してほしい。円形公園については、現段階では非日常ということで検討されているが、地下を活用しトンネルを掘って、いつでも向こうに行けるようにしておけば、円形公園がもっと身近な存在になり、それから使い勝手もいいようなものになっていくのではないかと思うので、ぜひ非日常から日常へ移るように、そんな時期が来るように算段してもらいたい。

(鈴木会長) 地下を使うというのは、トンネル以外ではシェルターなどか。

(磯部委員) シェルターとか備蓄機能である。旧駅舎が再築したときに、備蓄等ができるかを聞いたところ、していない・考えていないとのことだったので、スペースが限られる中、地下を有効活用する。関連して、水についても井戸を掘っておく等も良いかもしれない。神戸の震災の後に、井戸を作っておくというのが現地であったので、そんなことを含めていざというときに頼りになる場所として、そういった機能も伴っていた方が良いのではないかと思う。

(鈴木会長) 安全安心、百年後を見据えるというメインメッセージでした。百年後の話というと、以前、まちづくり会議のまち育て部会でも、「何百年後とか何十年後に車を使っているか分からない。円形公園はロータリーと今は言っているが、そういうことも考えながらやった方がいいよね。」という話をしていたのを思い出した。

(藤本委員) 東西広場に関しては、いろいろと書いているが、日常的にすごく使える、もっと言うところ「わちゃわちゃ」している感じがいいのかなと思っている。ただ、いきなり東西広場を整備して、「皆さん使いましょう」とは上手くいかないと思うので、社会実験や仮設性と書いたが、いろんなことをやってみて「こんなことができるのではないか。」ということ短いタームでやったり、ハードルをすごく低くして「こんなこともやっていいから使っていていいよ。」みたいなことを積極的に初めのうちやったりして、みんなが普通に使える場所だということを確認して、いずれは普通に使うようになるみたいな形になればいいと思う。ニューヨークの写真は、しつらえ的な話だが一段高いところを設ければ、人がたまる場所はできやすいのかなとか、下の写真は自転車も一緒に停めて、人も自転車も一緒にぐちゃぐちゃとしてたまっているのもいいかなと思ってイメージとして入れた。次ページの写真は、いろんなことができるのではないかという実例で、シドニーの写真では卓球している。だからそんなちょっとしたスポーツイベントをやってもいいし、キッチンカーや移動図書館みたいなものが普段使われているような感じがいい。あと、松山市と静岡市の写真は、仮設性の事例で、仮設でこういうベンチを置いたりして「どうぞ使って」みたいなことができればいいかなと思った。円形公園に関しては、私も今視点というより長期的な視点で見ている、非日常と日常と書いているが、日常的にあそこを使うとなるとなかなか難しいと思う。だからまず非日常みたいなことで、わぁっと人が

たまる瞬間、人だけがロータリーを含めて円形公園にいるような瞬間が年に何回かあるといい。百年後とかになって、車があんまり無くなったら、いつの間にか人の広場になっていたみたいなのができる就非常に良いかなと思う。円形公園をすごく作りこむというよりも、シームレス・ボードレスと書いたが、円形公園も道路も同じようなレベル（高さ）になっていて、縁石とかを無くしたり、道路もアスファルトではなくて石畳っぽい舗装にしたりして、道路と円形公園がつながっているようにするといいと考えました。山代温泉の写真だが、とても似ている。真ん中に温泉の湯殿があり、その周りを車が通れるのが境界がない。そのようなイメージがいいかなと。次の写真はイタリアのシエナのカンポ広場で、いつの間にか人の広場になっていたりとか、車も通るけど人もいるみたいな瞬間があったりとか、将来的にはこういうふうに人ばかりになってほしい。将来的でなくても、年に1回か2回くらいこんな瞬間を作って「すごいな」という体験をみんなですべて、それを将来につなげていくと非常におもしろいと思う。究極の目標である。

(木村委員) 東西広場について、個人的に活用方法を考えるにあたり、「アフターコロナのまちづくり」というのをキーワードとして考え、イメージを膨らませてみた。アフターコロナというところで、個人的にふたつ重要な変化があると思っている、ひとつは交通手段の変化。満員電車を回避してシェアサイクリング、コミュニティサイクリングといった自転車の活用が増えるのではないかが1点目。もうひとつはオープンスペース。居場所やサードプレイスとして屋外のオープンスペース・公園といったものの価値が上昇するのではないかというのが2点目。その辺りを念頭に置いて考えてみた。ひとつ目の自転車の活用が広まるのではないかというところで、いま国立市は実際に複数コミュニティサイクルがあると思うが、そのホームベース・拠点として使うというのが案としてあると考えた。もうひとつ、居場所としての役割について。居場所としてどういう場所で過ごしたいかを考えたときに、自分としては要素が3つあって、「太陽光がさしていること」、「自然・緑があること」、ウォーターフォールと書いたが「水があること」である。それらをイメージして立川のグリーンスプリングスという複合施設のオープンスペースの写真を挙げた。個人的なこだわりであるが、池よりも流れのある小川の方が自然な感じがして良いかなと思う。池の場合だと、淀み・停滞をイメージしてしまう。小川の場合は、流れがあって「交流」みたいな所につながる感覚がある。円形公園について、皆さん長期的なスパンで考えていてすごいと思った。自分は長期的なことは考えずに書いた。イメージとしてあるのが、非日常的にイベント等で使うという話があったので、ステージのようなものを連想したため、すり鉢状みたいな段差があり中心がステージとして使えるイメージの画像を持ってきた。また、自分にとって重要な要素として、大学通りが見えたり、反対に大学通り側から旧駅舎がきれいに見えたりするというのが大事な要素のひとつである。したがって、視覚を損なうような障害物があるのは良くないと思った。基本的にシンプルな作りで障害物が少ない造りにするのが個人的には良い。

(落合委員) 藤本さんのニューヨークの写真がすごくいいと思った。また、確かに円形で掘ってあるスタジアムのような感じも素敵である。私は谷保の方にいるので、大学通りを北に向かって歩くが、やはり（円形公園に）高いものが無い方が、旧国立駅舎がよく見えるといつも思っており、高い木などが無い方がいいだろう

と考えている。それと、子育て世代のお母さん、しょうがいを持った方、あるいは車椅子の方が、利用しやすいのであれば、誰もが利用しやすいものになるのかなと思う。

～鈴木会長、洪副会長によりそれぞれのグループでの議論の内容を全体で共有した。～

ブレイクアウトセッション2回目（15分）

グループ1

- (洪副会長) 次のセッションでは円形公園について議論したい。1回目のセッション同様、皆さんのご意見を伺いたい。
- (中村委員) 円形公園に歩道からアプローチできるようにして身近な存在にしたい。当初は水禽舎で水鳥が飼われ人が集まる人気スポットだったので、将来の円形公園もそのような空間になっていけないかと考えている。
- (佐藤委員) 基本的には東西広場も円形公園もなにも無いほうが良い。ただ、全部何もおかないとつまらない。昔円形公園の中に入って子どもが遊んだことがあるという話を聞いたことがあるので、円形公園内に秘密基地のような空間があると面白いと考えた。
- (宮崎委員) 当初は池を残す案、残さない案の2案を考えた。他所の事例で池を開放したときに安全面からフェンスで囲ったが、それでも外来種の繁殖があったので、最終的には円形公園には池はないほうが良いと考えた。
花時計を市民参加で管理して定期的に花時計のデザインを更新できるといい。
そこを写真撮影スポットにしたいので 円形公園内にはいつでも入れるといい。
- (磯前委員) 人が入れる空間を作ってあげると良い。ただ、大勢の人が行きかうというよりは少人数が入れる方が良いと思う。
- (洪副会長) 佐藤委員のご意見のようなワクワク感も大事と考えている。写真のツリーハウスはどのようなイメージか。
- (佐藤委員) よく考えると旧国立駅舎が見えなくなるのだが…
私は駅前に子どもの遊び場がないことが課題だと思っていて、それを解消したいという想いで今回の提案をした。東西広場は自由に走り回れて、円形公園は中に入って遊ぶ。そんな空間が良いと思った。木やツリーハウスにこだわっているわけではなく日常的に子どもが利用できる空間を作りたい意図である。
- (洪副会長) いつでも入れるようにするというのは皆共通の意見のようだ。
子供の遊び場がないことについて皆強く同意している様子だったがそこについてはいかがか。
- (中村委員) 一橋の兼松講堂でお母さん方が子供を連れて遊んでいる姿を見たことがあるが素敵だなと感じた。そういった姿が駅前でも見られるといいのだが。
- (洪副会長) 中村委員の発言の「人が集まる場所」という視点も大事だと思う。
- (中村委員) 円形公園内は富士見通り、旭通りに向けての景観が素晴らしい。市内で富士山が一番きれいに見えるのは円形公園内だと思う。

グループ2

- (鈴木会長) グループとして8マスを改めて埋めていきましょうという話だがどうするか。
- (藤本委員) これまでに皆さんがおっしゃったことの中で、「これは絶対に入りたい」というのを言っていたといいかなと思う。
- (鈴木会長) ではそのようにやる。
- (木村委員) シンプルとフレキシブルは共通項として括れると思った。シンプルであれば、社会実験・仮設性につながる様々なことをやりやすいのではないかなと思う。シンプルとフレキシブルを皆さんキーワードに挙げていたので、皆の意見としてまとめられるのではないかな。また、もうひとつのグループでも話があったようだが、通路というよりは市民が集える場所というところで、「居場所」というキーワードに言及されている方も多いので、これも共通項になるのではないかなと思った。また、セーフティ・安全というキーワードもSDGsに関連して入ってくるかもしれない。
- (藤本委員) 磯部さんの安心安全というところと少しミックスになってくるのだが、防災に関するイベントを、定期的ではなくても頻繁にやっていくのがいいのかなと思った。言ってしまうと防災イベントだが、最近よくある釜戸ベンチ等が置いてあるだけではなくて、例えば周辺の飲食店の方々が炊出しをやってみるとか、そういう防災に関するイベントを通りがかりで見ただけであれば、「こんなことができるんだ」「こんなことを考えているのか」が啓蒙として伝えられる場所としておもしろいかなと思う。キッチンカーなんかもそんなところに通じていると思う。また、移動図書館みたいなものを、そのうち落合さんが企画してやってくれると楽しかったりすると思う。「ちょっとした」イベントというのを何回もやっていって、それがひとつのブランドというか、それを作ることに役立つかと思うので、そんなキーワードも入れてみるといいのかなと思った。
- (鈴木会長) 「わちゃわちゃ」と言っていたけど、「いろんな楽しみ方をしていいよ」みたいな感じか。
- (藤本委員) 「いろんな楽しみ方」というのは良い言葉かもしれない。
- (磯部委員) 違う視点からコメントすると、夏はとにかく暑いので、太陽が降り注ぐのはいいことだが、日影があつたり、照り返しが少ないような素材を使った形で緑があふれていたり、そんなようなデザインができればと思う。駅を出て、暑いからすぐにそこから離れたくないような場であってほしい。東西広場はいろんな形で使える、汎用性がある、柔軟性があるところであるといい。円形公園については、屋外コンサートをやったり、レースの起点になったりできるだろうと思う。しょうがいしゃの方だったら車椅子レース、車が走っている時代では、そのときは車をどかして非日常的にいろんな人がいろんなことに使えるといいかなと思う。それから景観について、旧国立駅舎が見えなくならないようには大賛成で、視界を広く採れるといい。
- (落合委員) 藤本さんの移動図書館の話だが、そういうことはやりたい。カフェやキッチンカーも移動ができていいと思う。

～鈴木会長、洪副会長によりそれぞれのグループでの議論の内容を全体で共有した。～

- (鈴木会長) これらを踏まえて、旧国立駅舎の将来像実現にむけて、何かやりたくなったことなどがあれば各委員からお聞きしたい。
- (洪副会長) 自分の趣味嗜好とは違うものと出会い生活に変化を与えてくれるようなイベント、それから「あいちトリエンナーレ」で行われていたアートプロジェクトで、自分がジェンダーの観点で壁を感じたことを街中に貼っていく取り組みがあった。このようなことを国立でもできたらと考えている。
- (磯部委員) 道路を地下化して地上を広場にする。地下に防災拠点を作る施策を推進してほしい。
- (木村委員) 藤本委員の円形公園の話でシームレス・ボーダーレスの考え方に感銘を受けた。道路と公園の境目がない一体化しているのが利用である。そのためには交通量を減らさないといけないと思った。
- (落合委員) 人が集える場所が必要だと思う。子どもやしょうがいを持った方が当たり前そこにいれる場所になればいい。交通量が減った先にあることを考えられたら素敵だと感じた。移動図書館や音楽に関するイベントなど東西広場で行ってきたいと思っている。
- (藤本委員) 1年に1回でも円形公園内に自由に入れる瞬間を作りたい。夏の朝早い時間など交通量の少ない時間帯でもいいのでやりたい。
- (佐藤委員) ビアガーデンをやりたい。実際使っていないとわからないことも多いのでまずは賑わいを生み出していくことが大事だと思う。
- (中村委員) 子供達が遊んでいる空間になってもらいたい。イベントを仕掛けて人が集まるというよりは人が集まっているからこのイベントをやろうという風になればいい。東西広場をうまく活用してその賑わいを円形公園まで展開できればと思う。
- (宮崎委員) 駅を降りて安らげる空間、安全な場所。それから、情報発信の基地になってほしい。
- (鈴木会長) やりたいことが違う人が集まっても、代わる代わるそれぞれのやりたいことが実現できる空間にしていきたい。
- (磯前委員) 夜のライトアップをして市民がホッとできると良い。
- (事務局) 各委員からの貴重なご意見に感謝。次回はこれらの意見を事務局で取りまとめるとともに市民アンケートのフィードバックも含めて議論できればと考えている。

6. その他

事務局より共有。令和2年度は全4回の開催だったが、次年度は6回開催する。5月、7月、9月、11月、1月、3月の開催を予定している旨を説明した。

以上